

消費生活通信

平成30年9月14日 発行
九州農政局 消費・安全部 消費生活課
№13

◆「しっとと？国のお仕事～夏休み見学デー～」を開催しました◆

貝がら工作に熱中



平成30年8月1日（水）、2日（木）熊本地方合同庁舎A棟1階会議室等において、熊本県内外にある国の機関の仕事を知っていただくことを目的として、九州農政局主催により夏休み見学デーを開催しました。

当日は、子どもたちを中心に、多くの来場者で賑わい、昨年を大きく上回る1,069名の来場者となりました。

また、1日目の午後には、くまモンが来場し、会場を盛り上げてくれました。

たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。

水路の生き物に興味津々



©2010熊本県くまモン



熊本県産米粉を使った Decoだんご作り

各ブースに くまモンが登場



©2010熊本県くまモン



米粉でラップサンド 「トライフル」作り

野菜や果物の糖度は どれくらいかな？



親子でみそ作り

◆アクリルアミド低減対策に関する説明会を開催しました◆

平成30年8月27日（月曜日）、福岡県久留米市のえーるピア久留米生涯学習センターにおいて、久留米市女性の会連絡協議会会員のうち47名の方を対象とした「消費問題研修会」で、「安全で健やかな食生活を送るために～アクリルアミドを減らすために家庭でできること～」に関する説明を行いました。

説明会では、バランスの良い食生活を実践した上で、家庭でできるアクリルアミドを減らすことのできる調理法等を紹介しました。

参加者からは、「水を使わず果物の水分だけで手作りジャムを作るが、調理法は問題ないか」、「電子レンジで調理した場合、アクリルアミドはできるのか」、「コーヒーにもアクリルアミドが含まれているとあるが、インスタントコーヒーはどうか」、「アクリルアミドを抑えることができる食品添加物とは何か」など多数のご質問があり、高い関心を持っていただきました。

※アクリルアミドは、加工調理の過程で、120℃以上の高温加熱により、意図せず生成される化学物質です。食品の安全性を評価する国際的な機関は、「食品を通じてアクリルアミドを長期間にわたってとり続けると、健康に悪影響が生じる可能性がある」と発表しています。

◆もっと詳しく知りたい方は、農林水産省ウェブサイト「家庭で消費者ができること」をご覧ください。

農水省 家庭で消費者ができること

検索



◆毒きのこによる食中毒に要注意◆

夏の気温が高く、その後に適度な降雨があり、朝晩の気温が低下すると、多くのキノコが発生することが考えられます。

毎年、毒きのこを原因とする食中毒が発生しています。

食用キノコと確実に判断できないキノコは、絶対に 採らない！ 食べない！ 売らない！ 人にあげない！

判断に迷ったら、処分してください。キノコを食べて体調が悪くなったら、すぐに医師の診察を受けてください!!



次のような言い伝えは誤りです。信じてはいけません。

- × 縦に裂けるキノコは食べられる。
- × ナスと一緒に煮ると毒がぬける。
- × 臭いが良ければ食べられる。
- × 塩漬けにすると毒がぬける。
- × 派手なキノコは毒きのこで、地味な色のキノコは食べられる。



お届け先の変更はお早めにお知らせください！

(お問い合わせ先)

農林水産省九州農政局消費生活課 谷口

〒862-8527熊本市西区春日2-10-1

TEL 096-211-9111 (代) 内線4220 FAX 096-211-9700

